

2019/11/23

学校と社会をつなぐ調査 第4回調査 分析結果報告&シンポジウム

大学 & 社会で活躍できる 力をつけるために

～事例報告 桐蔭学園卒業生調査から

令和元年11月23日

桐蔭学園

佐藤 透

satohru@toin.ac.jp

@AP日本橋



TOIN GAKUEN

桐蔭学園って・・・



2018年度より高校共学化、2019年度より中等共学化（年次進行）

「新しい進学校」の実現

自ら考え判断し行動できる力を

～次の50年を見据えた学校改革

⇒ **新しい進学校のカタチ**

「社会へつなぐ、大学へつなぐ」

50年積み重ねてきた**伝統**と、次の50年を見据えた**先進**との融合

⇒ **大学入試を突破できる力を養うのは当然**

**大学に入ってから、多様化する変化の激しい社会
に出てからも活躍できる人物に**

桐蔭学園 学びの3つの柱

「授業」をベースにした学校改革

【3つの柱】

- ①AL(アクティブラーニング)型授業
- ②探究(未来への扉)
- ③キャリア教育

桐蔭学園で育てたい資質能力(学校教育目標)

【大項目】

社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成

【評価項目】

改革ビジョン×建学の精神

①他者（と協働する）

他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる

②学問（を究める）

学び続け問い続けながら、探究することができる

③自己（を高める）

自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めることができる

④世界（を広げる）

未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる

3本柱（AL・探究・キャリア教育）の効果検証

→学びみらいPASS・アンケート・模試

→卒業生追跡調査

⇒トランジションの視点

「学びみらいPASS」の位置づけ

- AL・探究・キャリア教育の効果検証アセスメント
- 高1次（春）と高2次（秋）の2回実施。
 - ⇒生徒たちの成長を見たい
- 特に生徒タイプ・コンピテンシー・リテラシーに注目
 - ⇒生徒の特性を見極めながら指導



3年前、2016年9月24日

学校と社会をつなぐ調査

第2回調査分析報告会での発表

@キャンパスプラザ京都

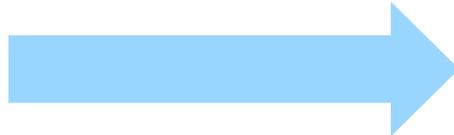
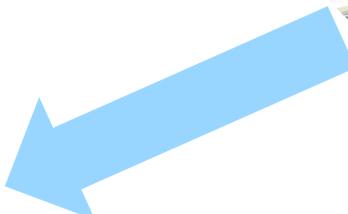
アクティブラーニング型授業導入を核とした教育改革へ

一人ひとりが確かな学力をつけられる

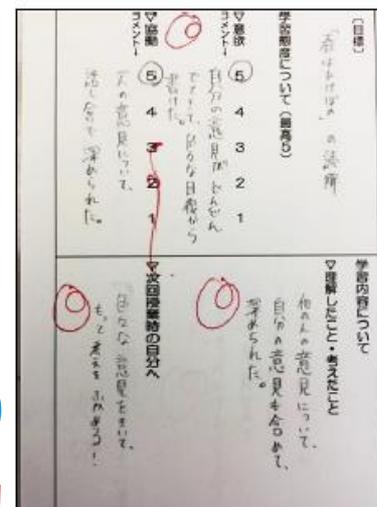
目標の共有後、「個」の学習
「わかった」と思うけど...



「協働」の学習(アウトプット)
「あ、そうか!」「なるほど」



最後に「個」で振り返り
「わかる。大丈夫だ!」



学びみらいPASS(河合塾)のデータを用いての「学力の三要素」の検証

学力の三要素

①教科学力(Kei-SAT)

- (1) 英語
- (2) 数学
- (3) 日本語 の模試タイプのテスト

②リテラシー(PROG-H)

- (1) 情報収集力
- (2) 情報分析力
- (3) 課題発見力
- (4) 構想力

③コンピテンシー(PROG-H)

- (1) 対人基礎力
 - a) 親和力
 - b) 協働力
 - c) 統率力
- (2) 対自己基礎力
 - a) 感情制御力
 - b) 自信創出力
 - c) 行動持続力
- (3) 対課題基礎力
 - a) 課題発見力
 - b) 計画立案力
 - c) 実践力

★学力の三要素の8タイプ

①教科学力

②リテラシー

③コンピテンシー

1

2

3

4

5

6

7

8

○○○

○○△

○△○

○△△

△○○

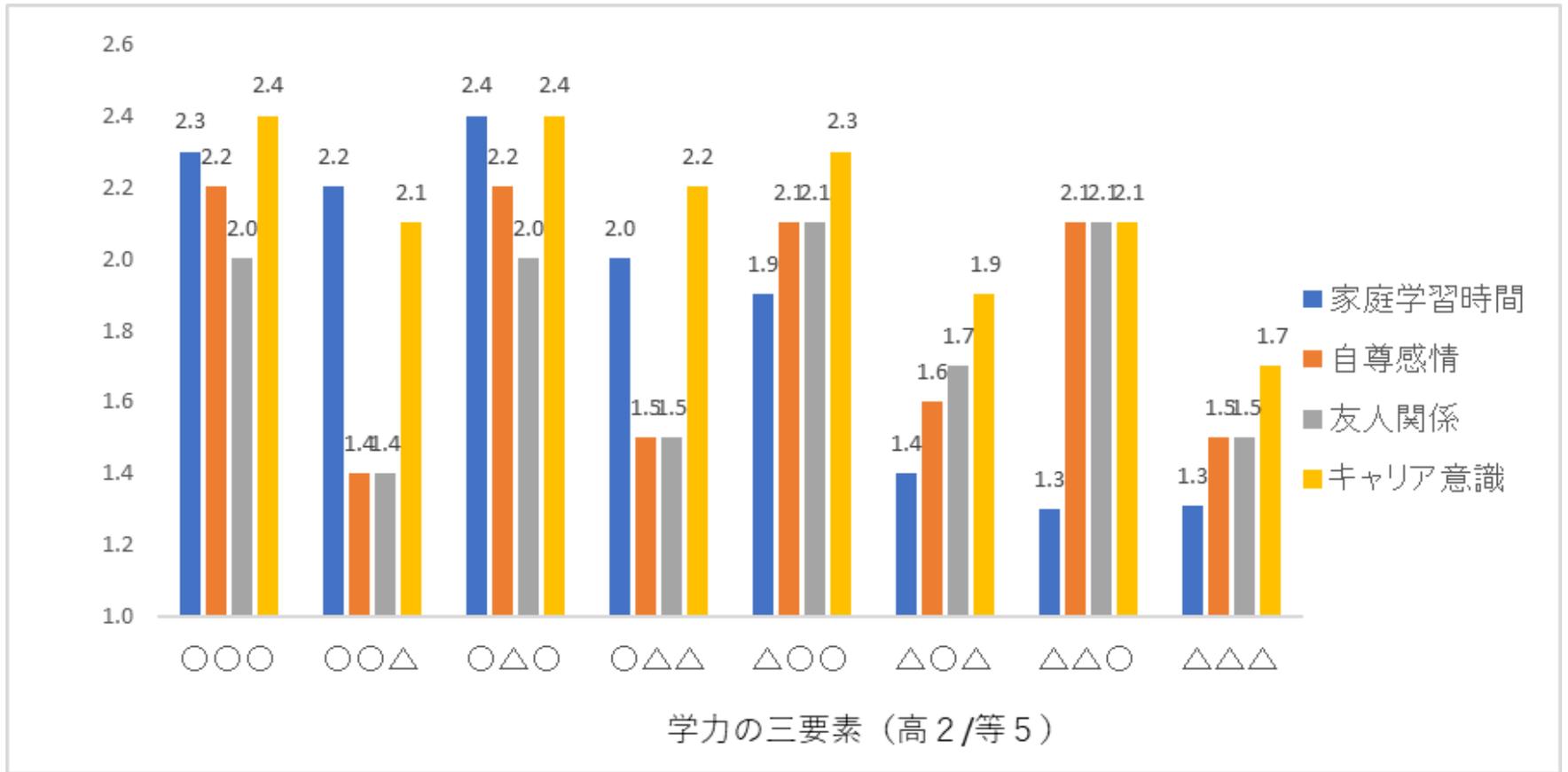
△○△

△△○

△△△



学力の三要素(学びみらいPASS) × 家庭学習時間等



上

中下

上

中下

中上

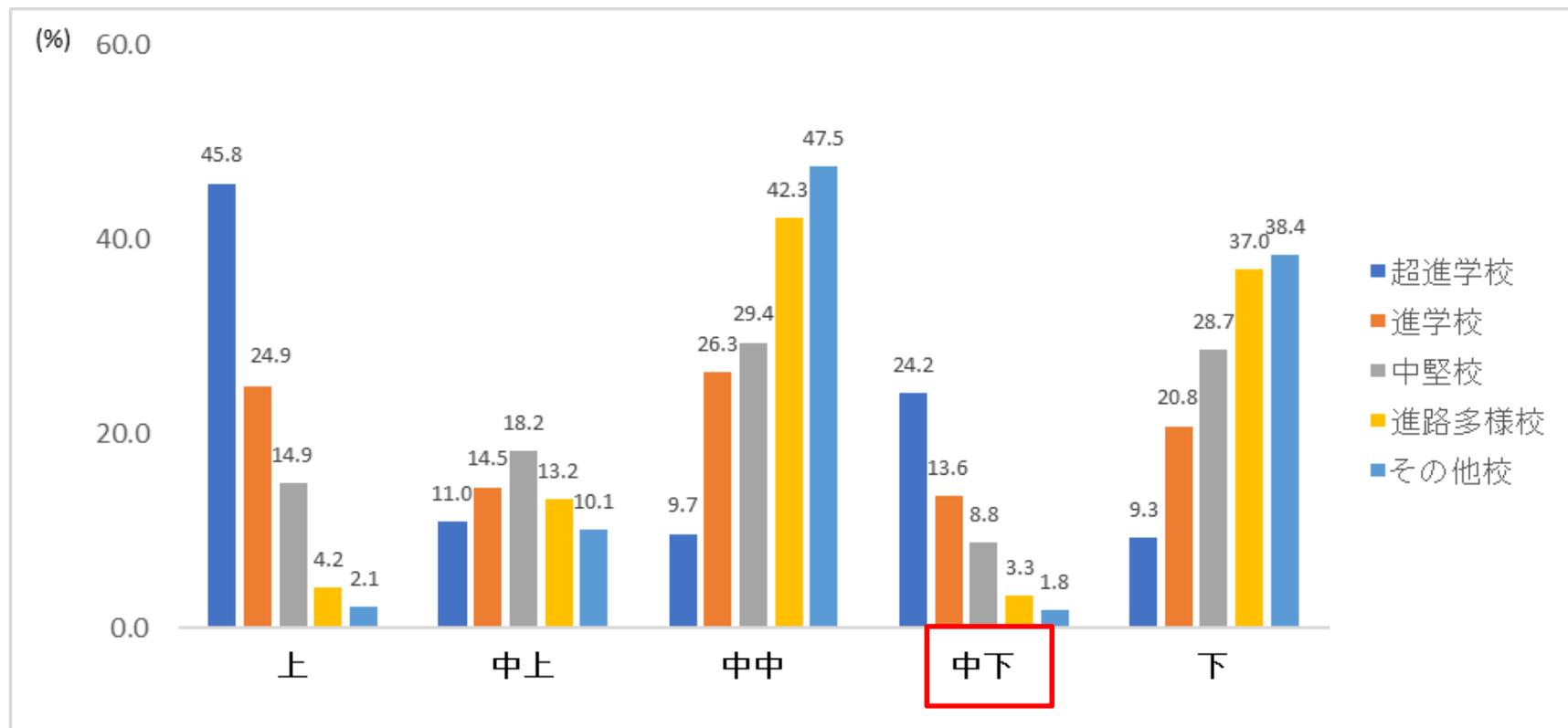
下

中中

下

(注)この分析は河合塾に資料をもとに桐蔭学園独自でおこなっているものです

河合塾の学びみらいPASS全国の資料より



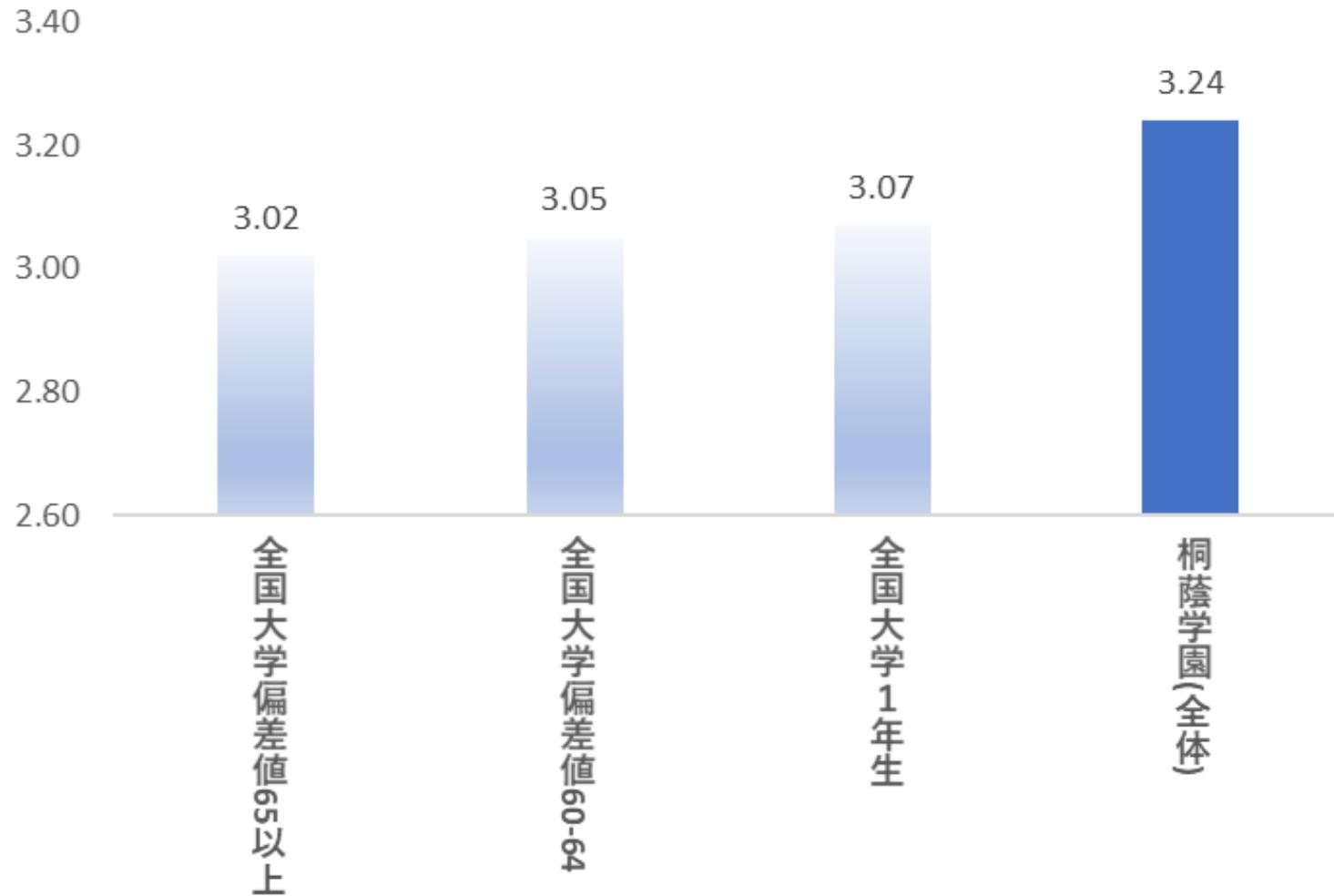
(注)この分析は河合塾に資料をもとに桐蔭学園独自でおこなっているものです

卒業生調査

- 対象：2018年3月卒業生（高校52期/中等12期）
調査時 大学1年生（分析は現役進学者のみ）
卒業時に登録したメールアドレスにGoogleフォームズで作成した調査票を送信し、回答を依頼。
送付数・回答数・回答率は表の通り。
2018年12月に実施。
- 実施部門：トランジションセンター（IR部門）

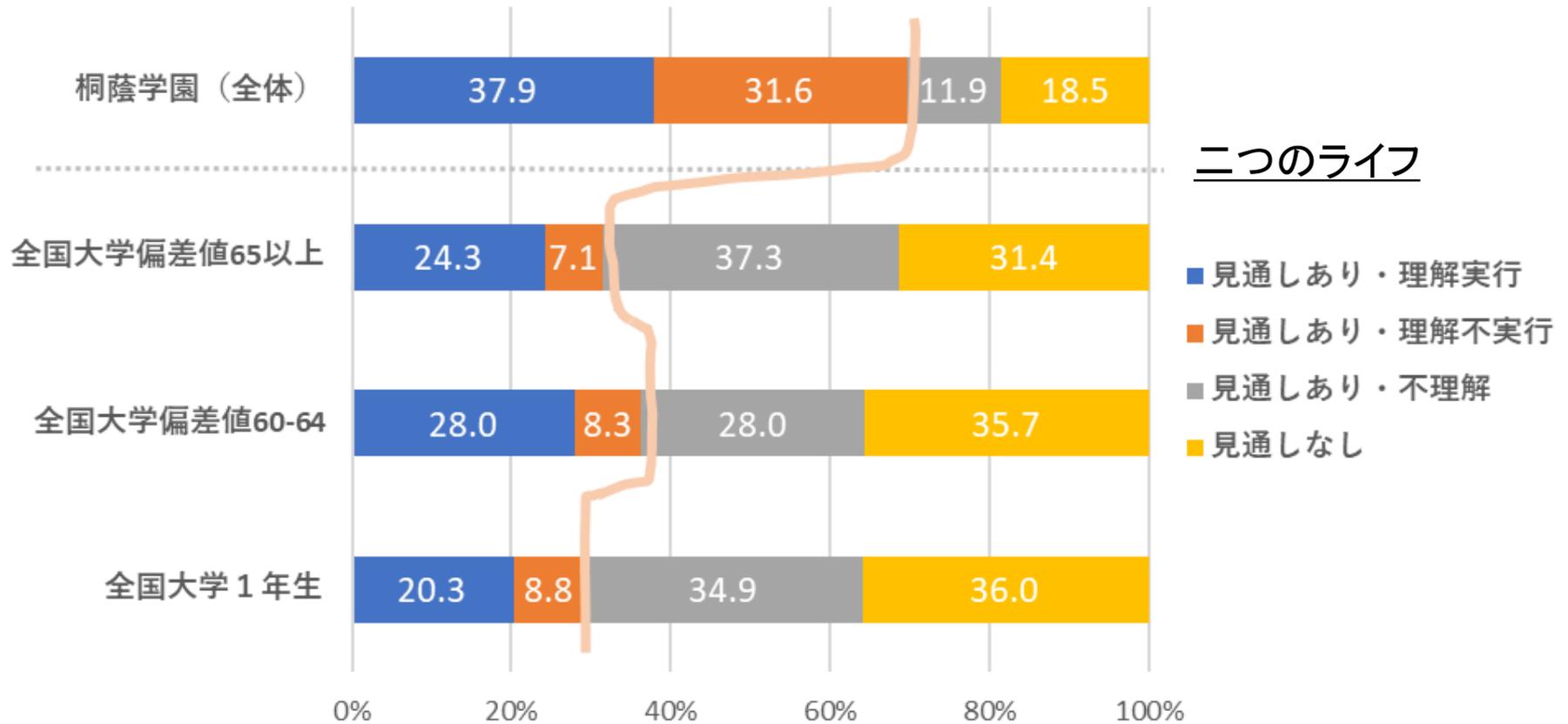
	在籍数	送付数	回答数	うち浪人	進学者回答数	進学者回答率	対送付数回答率
中等教育学校	162	113	50	15	35	31.0%	44.2%
高校男子部理数科	232	152	75	27	48	31.6%	49.3%
高校男子部普通科	377	240	111	28	83	34.6%	46.3%
高校女子部理数コース	147	104	51	10	41	39.4%	49.0%
高校女子部普通コース	135	106	48	9	39	36.8%	45.3%
合計	1053	715	335	89	246	34.4%	46.9%

主体的な学習態度



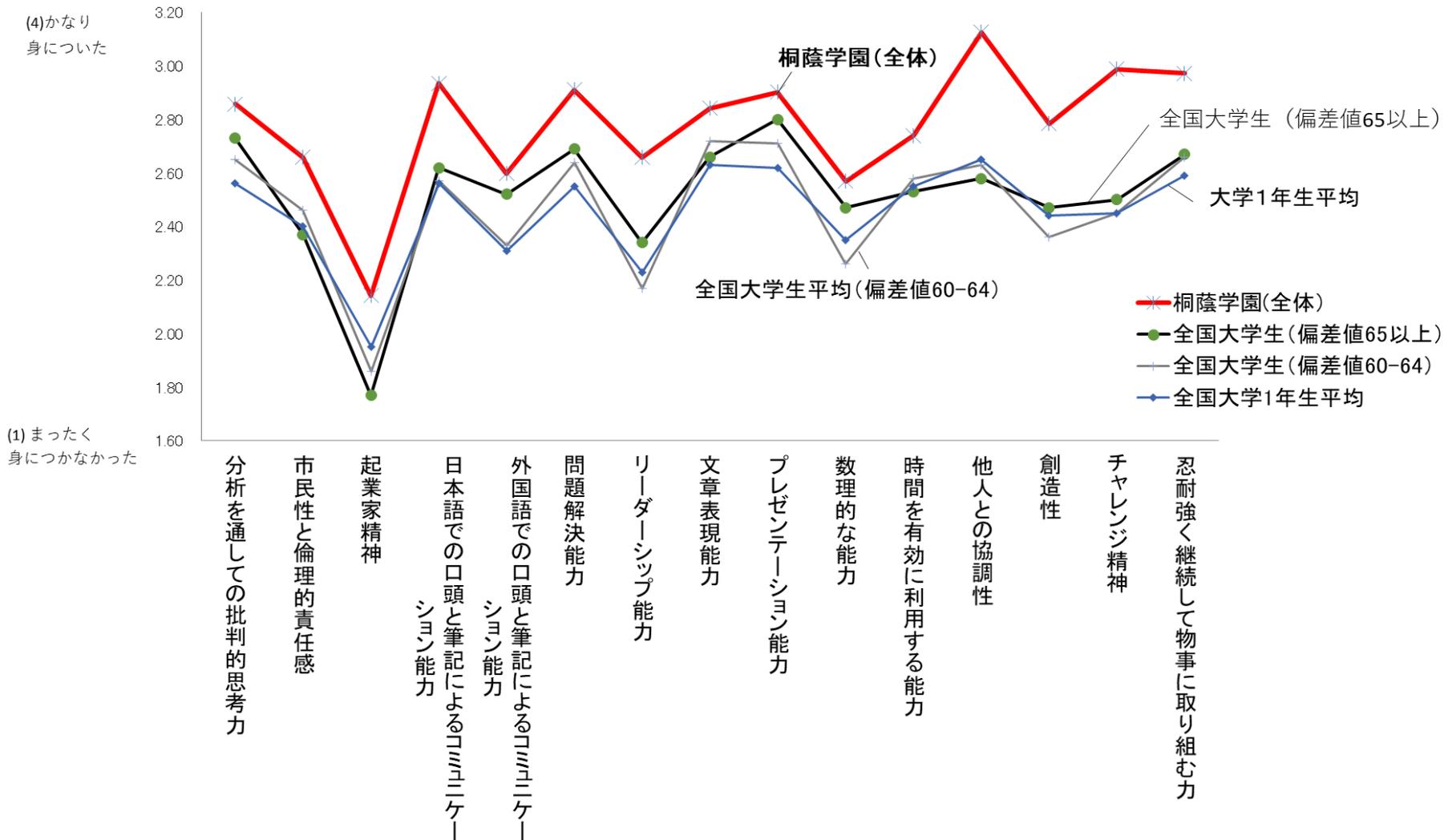
主体的な学習態度(3.24)が全国平均(偏差値別)より高い

二つのライフ



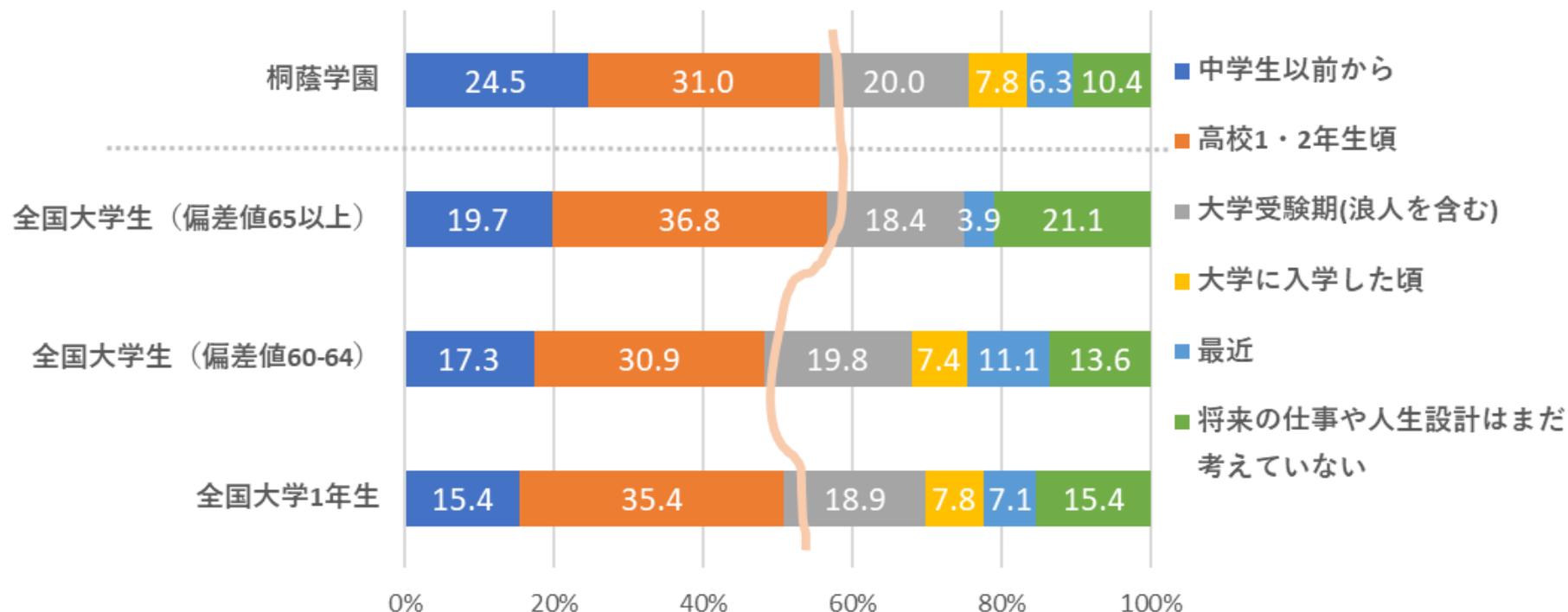
- ・見通しあり・理解実行＋理解不実行の割合(計69.5%)が
全国平均(偏差値別)より圧倒的に高い。

資質・能力



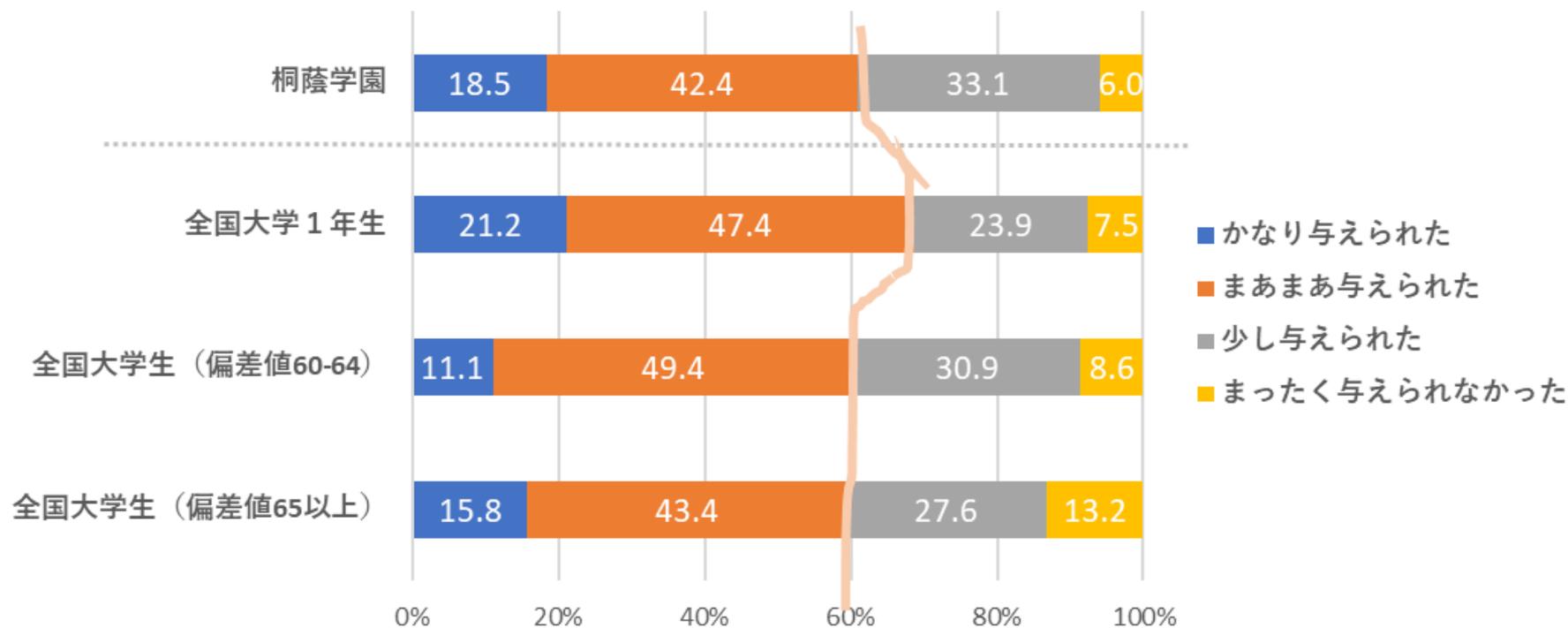
資質・能力すべての項目において、全国平均(偏差値別)より高い。

Q あなたは、現在考える将来の仕事や人生を、いつ頃から考え始めましたか。



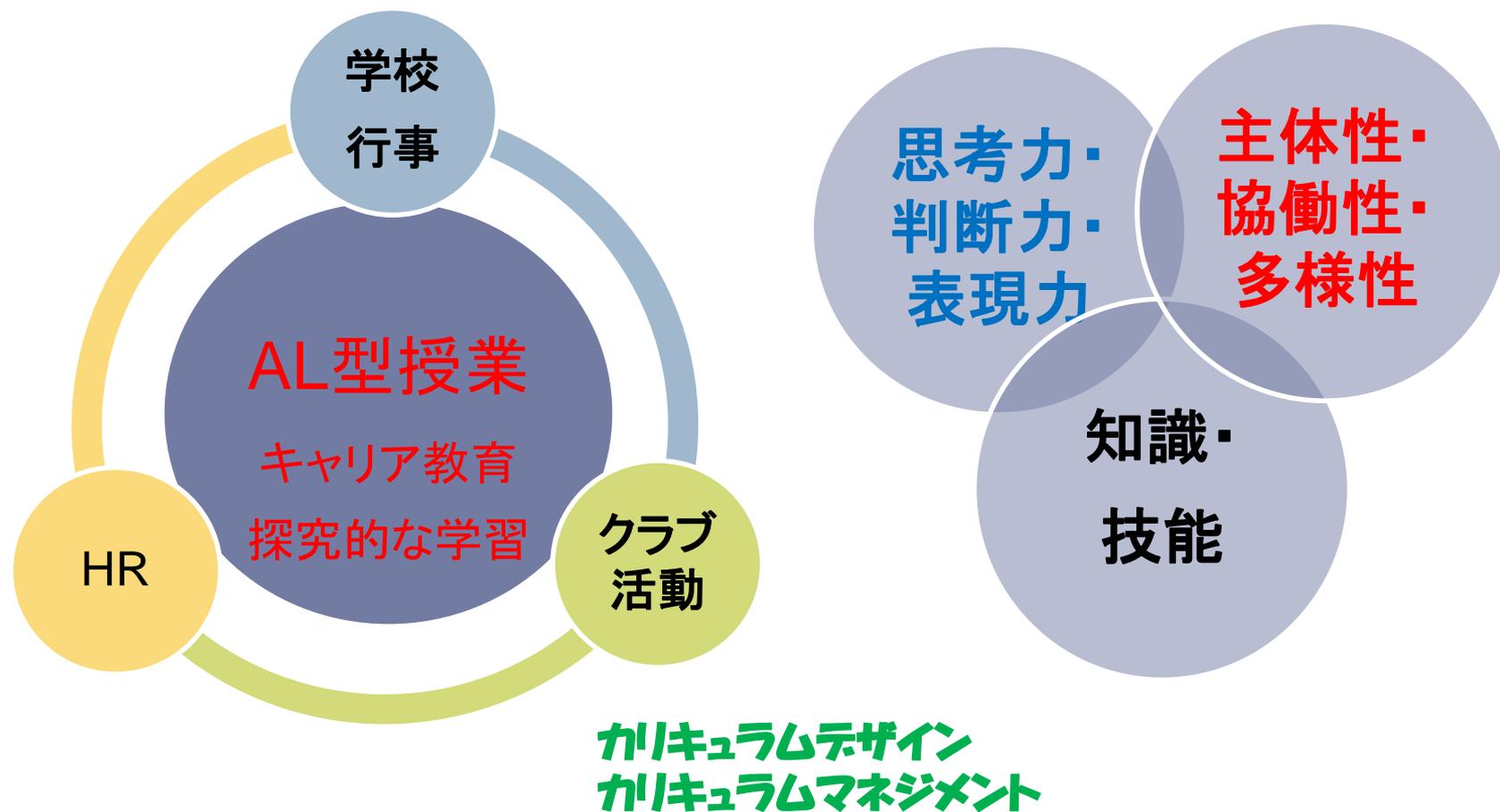
- ・偏差値65以上とほぼ同じ傾向である。
- ・“中学生以前から”“高校1・2年生頃”に考え始めたとする生徒が55.5%見られた。
- ・“まだ考えていない”とする生徒は10.4%であり、全国より少ない傾向であった。

Q あなたは、中学・高校での進路指導などで、就職や将来の生き方についてどの程度考える機会を与えられてきましたか。



・偏差値60以上とほぼ同じ傾向であるが、全国平均に比べるとやや低い該当率である。

学力の3要素 & 生徒・学校の実態を踏まえ 学びと成長を見据えた教育改革へ



桐蔭学園 学びの3つの柱



AL型授業による
主体性・協働性

自ら学び続ける力

人生をデザイン
する力



よりよい社会を
創造したい

真理を探究したい

命を救いたい

平和を実現
したい

社会に貢献
したい

世の中にワクワクを
届けたい

「こうありたい」

偶然の出会い

国際社会

他者

学校

地域

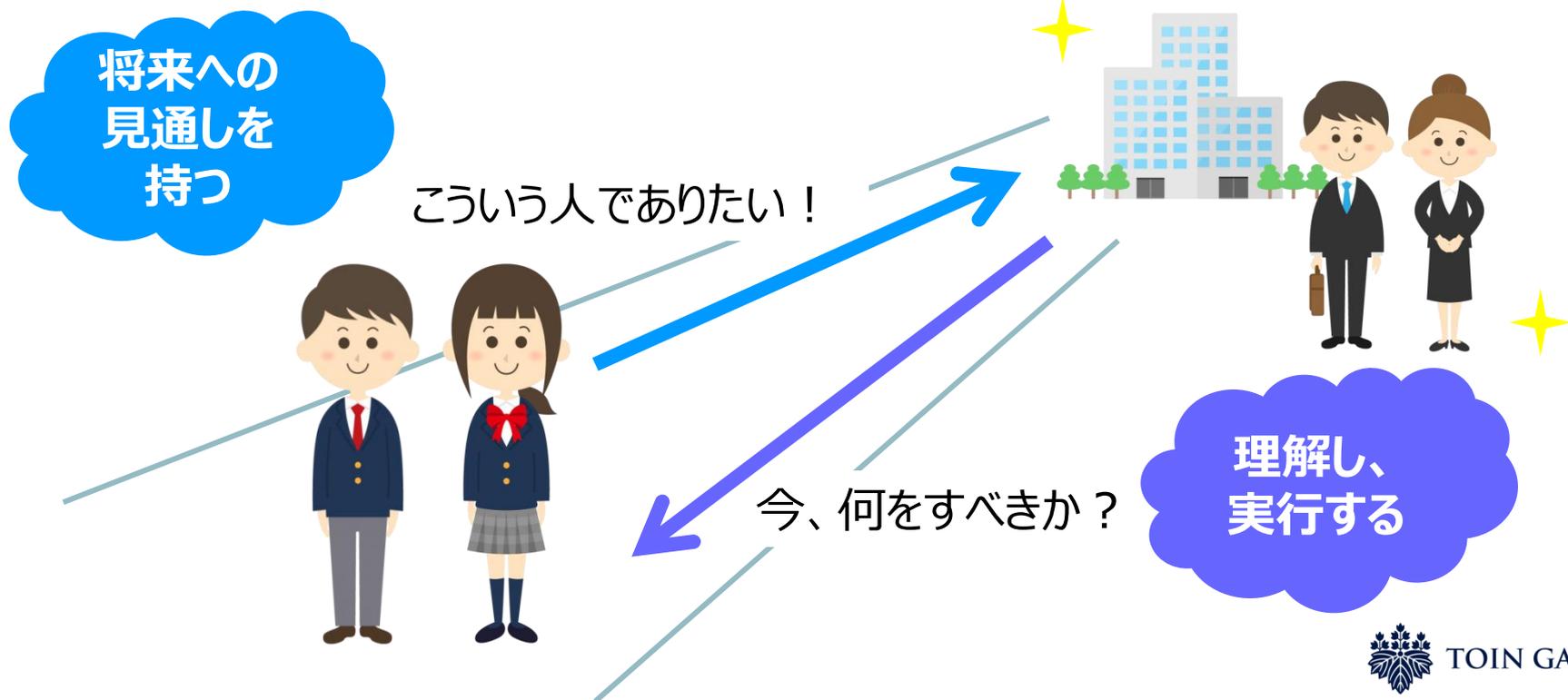
「今、何をすべきか」

自分の根っこ

ゆずれない価値観

桐蔭学園のキャリア教育

将来への見通しを持ち、
それに向けて今、何をすべきかを理解し、
実行することができる力を育てる教育



キャリア教育～中等教育学校では



「私は、こうありたい」



キャリア宣言
研究室シャドウイング
ジョブシャドウイング



グローバルチャレンジ
地域社会との連携
シアターラーニング



みらとびの授業で、あなたの「未来への扉」を開けてください。

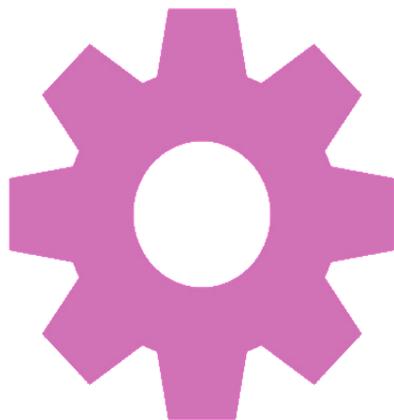
探究の授業って？

どの教科にも**分類できない**が

どの教科にも**必要**



ギア
GEAR(歯車)のようなもの



未来への扉 (みらとび)

週1時間×2年間

	高校1年生			高校2年生		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
内容	共通スキル	個人・グループ研究			発表	論文
形態	クラス単位	ゼミ形式 (分野別)				

桐蔭学園の現在、そして今後

○現在の高校2年生(55期・15期) 共学高校初年度生

⇒2018年4月に実施した「学びみらいPASS」の結果分析に基づき、各集団や個としての課題が浮き彫りにされ、その克服にむけての様々な取り組みがなされてきた。

- ・AL型授業

- ・キャリア教育(1分間スピーチ・ジョブシャドウイング・研究室シャドウイング・各種行事etc.)

- ・探究—「未来への扉」

これからの取り組みがどのような成果をあげてきたか、12月に実施する「学びみらいPASS」で検証していき、さらなる改善に繋げていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。